

西浦地区義務教育学校地域説明会

令和5年10月1日(日)
午後3時45分から午後4時45分
西浦公民館

- これまでの経緯と義務教育学校について
- 学校教育方針
- 今後の計画について

西浦小・中学校の合築による義務教育学校設立について

小中を一緒(合築)にして小中一貫教育を導入し、異なる学年の繋がりで多様性を育むといった新たな教育体系や柔軟かつ大胆な教育環境を構築し、「地域に根ざした学校」づくりを推進していく。

※ 「蒲郡市小中学校規模適正化方針」の中で西浦小・中学校の対応策についての答申より

<合築による小中一貫教育の制度体系・手法>

○施設一体型の小中一貫型小学校・中学校

同じ敷地内に小・中学校を集めることで、基本的な小・中学校の枠組みは残したまま、教育課程・教員組織を柔軟に形成し、教育の質の向上を目指す。

○義務教育学校

一つの教職員組織の下で、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、教育課程を大胆かつ柔軟に形成し、特色のある教育活動に取り組む。

<小中一貫教育の検討>

令和3年度に「新しい学校づくり」検討委員会を開催。その中で、飛鳥学園や、にじの丘学園を視察しながら検討し、市内全小中学校で小中一貫教育を行っていくことを提言。それを受けて、総合教育会議(R4.3.29)、文教委員会(R4.4.14)でその方向性を報告し、施設一体型となる西浦小中学校は義務教育学校とする方向性で検討することを表明した。

<蒲郡市小中一貫教育 基本理念>

子どもたちの教育を地域とともに考え、地域の特色を生かした教育課程を柱とし、小中学校が「育てたい子どもの姿」を共有しながら、地域とともに義務教育の9年間を通じた教育活動を行うことにより、地域を愛し、地域とともに生きる子を育てる。



以上のことを踏まえ、合築して施設一体型小中一貫校となる西浦小・中学校については、「義務教育学校」とするとした。

○「義務教育学校」とする良さ

- ・ 義務教育の9年間の教育に対して、一人の校長による学校運営の方がより一貫性を持つことができる。
- ・ 義務教育学校（一つの学校）とすることにより、教職員の意識として、小中の隔てなく、「自分の学校の子ども」という意識を強く持つことができる。
- ・ 子どもたちが、委員会活動などを通して異なる校種の子どものことも考えることにより、多様性を持った考え方を養うことができる。
- ・ 義務教育学校（一つの学校）とすることにより、学校側の窓口が統一化され、地域と学校の連携を強めることができる。

【参考資料】「義務教育学校」と「小中一貫型小学校・中学校」の違い

相 違 点	義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校
組織・運営	・校長1名、教頭3名 （内1名：統括教頭） ・事務職員、養護教諭各2名	・各校に校長・教頭 ・各校に事務職員、養護教諭
兼務発令	不 要	異なる校種の児童生徒を指導する場合、「兼務発令」が必要
教員免許	原則、小学校・中学校の両免許状を併有 ※当分の間は担当する校種のみで可。	所属する学校の免許状を保有
修業年限	9年間（前期課程6年間、後期課程3年間）	小学校6年間、中学校3年間
教育課程	・9年間の教育目標を設定 ・9年間の系統性、体系性に配慮がなされている教育課程の編成 ・一貫教育に必要な独自教科の設定が可能 ・指導内容の入替え、移行が可能	
教育方針	校長が一人であるため、「小中9年間」を通じた教育活動が行いやすい。	小学校・中学校の各校長が連携をしながら9年間の教育活動を進めることができる。
学校行事	9年間を見据えて行事の計画の立案が可能。調整も「同じ学校」での調整となるため、調整がしやすい。	各学校種で行事を計画し、必要に応じて小中連携を行うことができる。
職員の意識	全職員が1年生から9年生までの子どもに対して「自分の学校の子ども」という意識を持つことができる。	自分の所属する学校種の子どもを中心にしながら、異なる校種の子どもにも目を配ることができる。

【資料】「小中一貫教育の制度化における3類型」参照

西浦地区義務教育学校 開校までのスケジュールについて

西浦地区義務教育学校開校準備委員会事務局

1 基本方針

みんなで作る新しい学びの場

西浦から始まる新しい学びのカタチ

2 開校準備組織

開校準備委員会



小中役員会

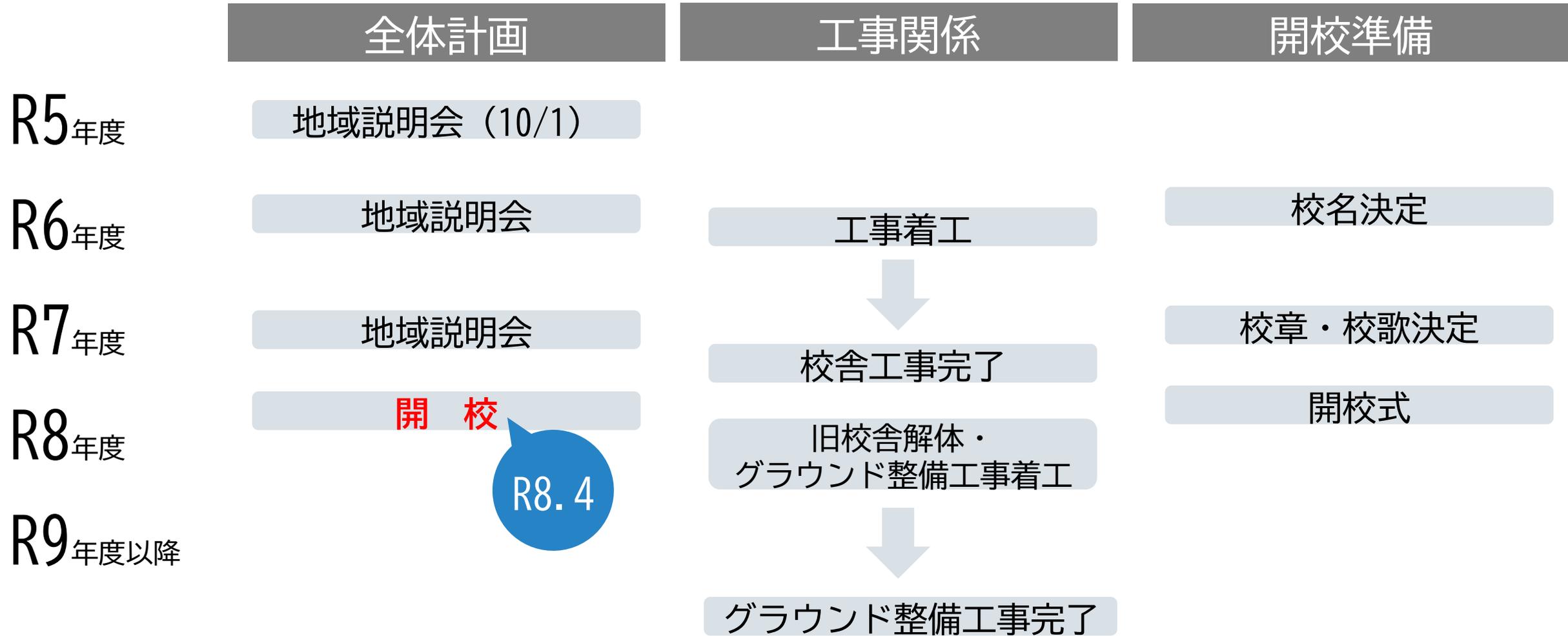
小中合同会議
(専門部会)

- コミュニティ部会
- カリキュラム部会
- 生活部会



「通信」を通じて
地域に周知

3 開校までのスケジュール



※今後、変更になる場合がございます。

4 新校名決定のプロセス

「みんなで創る新しい学びの場」

1 一般公募（10/25～12/15）

- ▶ 対象：市内在住者及び西浦にゆかりのある方

2 選定

- ▶ コミュニティ部会で集約⇒開校準備委員会で候補を選定

3 決定

- ▶ 教育委員会で決定⇒蒲郡市議会の議決により正式に決定

5 開校に向けて

地域の皆さんが「開校を楽しみ」に
できる学校を！